

令和 8 年

10月の星空さんぽ

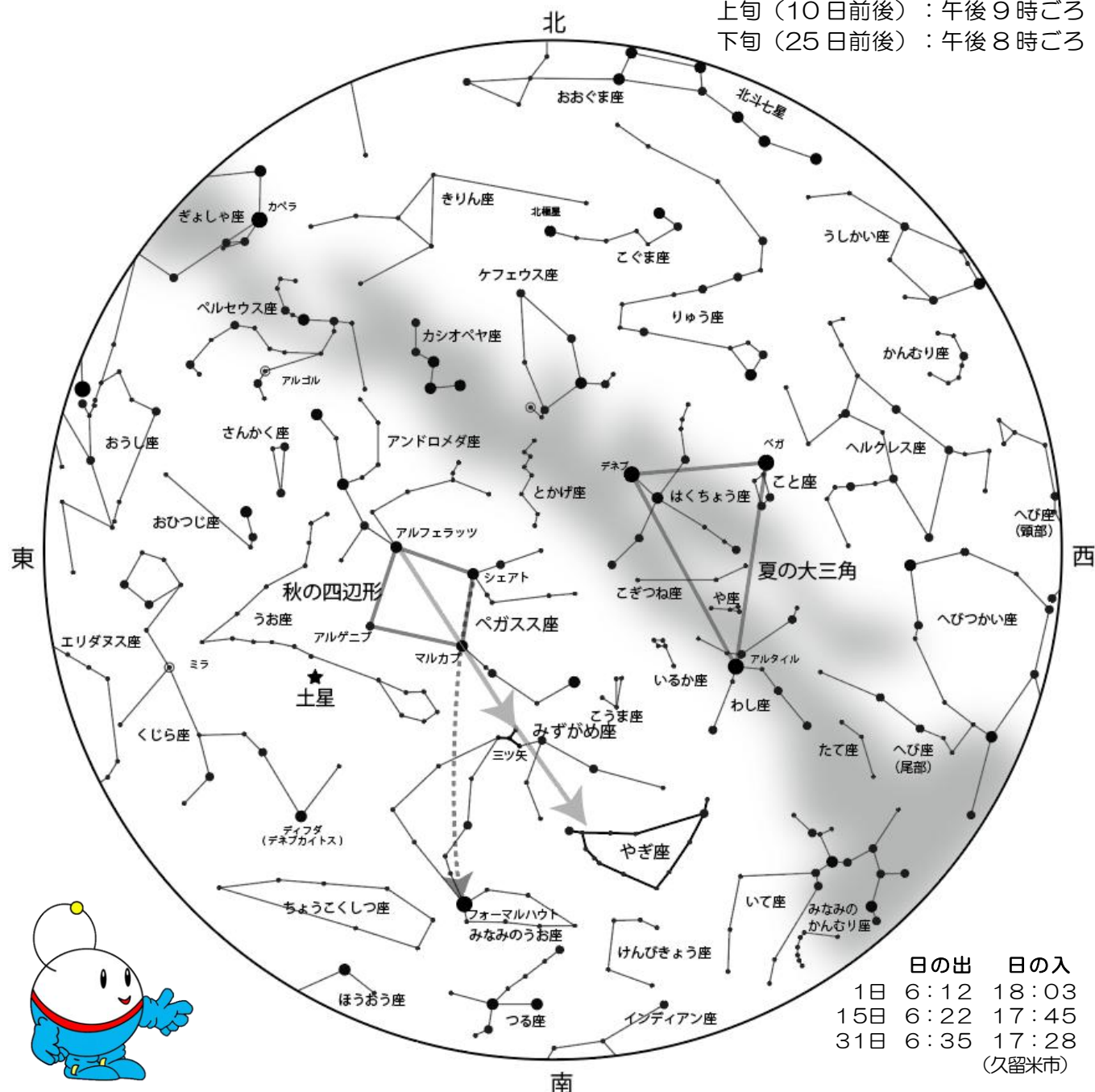
福岡県青少年科学館

TEL0942(37)5566



上旬（10日前後）：午後 9 時ごろ

下旬（25日前後）：午後 8 時ごろ



	日の出	日の入
1日	6:12	18:03
15日	6:22	17:45
31日	6:35	17:28

(久留米市)

日の入りの時刻もだんだんと早くなり、日増しに秋の深まりを感じるようになりました。この時期の夜空では、西の空にはまだまだ『夏の三大角』が見えています。その一方で、南から東の空にかけては秋の星座たちが見えています。

秋の星座を見つけるには、南東の空にある四角形の星の並びを目印にペガサス座を探るところから始めましょう。アルフェラッツ・シェアト・マルカブ・アルゲニブの4つの星でつくる四角形の星の並びは『秋の四辺形』とも呼ばれ、秋の星座さがしの案内役になります。まず、シェアトとマルカブを結んだ線を地平線の方にのばすと1等星のフォーマルハウトがあり、これを目印にみなみのうお座を見つけることができます。フォーマルハウトは『秋のひとつ星』とも呼ばれ、秋の星座の中では、唯一の1等星ですので、とても見つけやすい星です。次に、アルフェラッツとマルカブを結んだ線を地平線の方にのばすとアルファベットのYの字のような星の並びを見つけることができます。この星の並びは『三ツ矢』と呼ばれ、みずがめ座の目印です。また、アルフェラッツとマルカブを結んだ線を三ツ矢からさらにのばしていくと、逆三角形の星の並びを目印にやぎ座を見つけることができます。

10月は『秋の四辺形』をたよりに、秋の星座探しを楽しんでみてはいかがでしょうか。

《10月の天文カレンダー》

日	曜	天 文 現 象	日	曜	天 文 現 象
3	土	☾ 下 弦 (22:25)	19	月	☾ 上 弦 (01:13)
4	日	土星が衝	22	木	オリオン座流星群が極大
11	日	● 新 月 (00:50)	26	月	○ 満 月 (13:12)

【惑星の見え方】 (☆マークは、今月のおすすめです。)

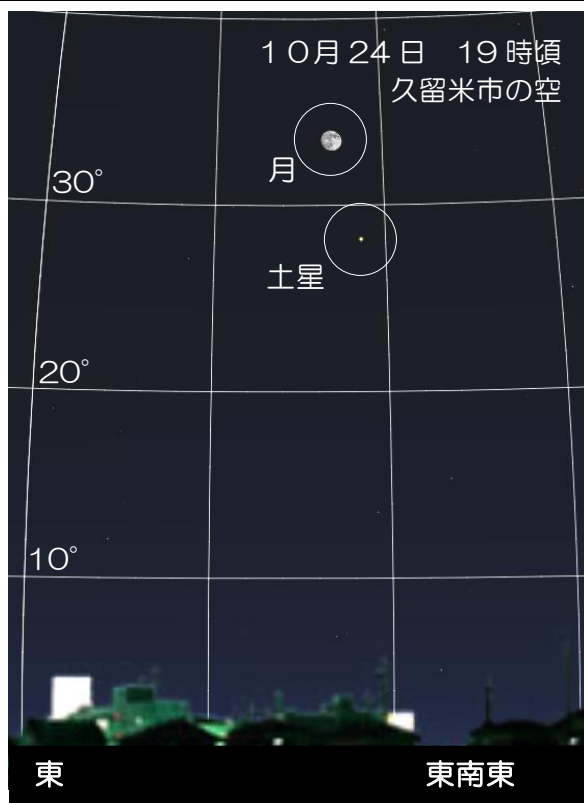
水星 (2.7~-0.1 等)	: おとめ座→てんびん座	観望に適さない。
金星 (-4.2~-4.5 等)	: おとめ座付近	観望に適さない。
☆火星 (1.0 等前後)	: かに座→しし座	真夜中頃に、東の空から昇る。
☆木星 (-2.0 等前後)	: しし座付近	日の出前、東の空で輝く。
☆土星 (0.4 等前後)	: くじら座付近	真夜中、南の空で輝く。

注目の天文現象 (10月) ~月が土星に接近~

24日の宵の頃、南東の空を見上げると、月のすぐ下の方に土星が寄り添うように並んで輝く姿を見ることができます。最も近づいて見えるのは19時頃で、その後、月と土星の距離は少しずつ離れていきますが、一晩を通してその距離感は大きく変わらず、並んだ美しい姿をじっくりとお楽しみいただけます。

また、土星は10月4日に、地球から見て太陽と反対側に位置する「衝(しょう)」を迎え、観望の好期です。天体望遠鏡で観察すると、土星の最大の特徴である環の見え方が年々変化しているのが分かります。去年は地球から見て土星の環が真横になり、細い線にしか見えませんでした。今年は傾きがやや増して環が少し開いた様子をご覧ください。

秋の夜空を彩る月と土星の共演をぜひご覧ください。



【ステラナビゲータ 11/株式会社アストロアーツ】

《天文イベントのご案内》

☆市民天体観望会 10月17日(土) 19:30~20:30 要予約



「夏秋の星座探しと土星をたのしもう」

- 対象：制限なし(ただし中学生以下は保護者同伴) ■定員：100名 ■参加費：無料
- 予約：10月3日(土) 9:30より、オンラインにて先着順に受付。

プラネタリウムで星空解説を聞いた後、科学館屋上にて望遠鏡を使って天体の観察を行います。

ぜひ、本物を見る体験を！(観望ができない場合でも、プラネタリウムでの星空解説は行います。)



○オンラインでの予約受付について

- ・イベントのご予約は右のQRコード、または当館ホームページよりお願いいたします。
- ・ご不明な点がございましたら来館またはお電話にてお問合せください。(☎0942-37-5566)

ご予約用QRコード

